MELL のカット除去規則に基づく 階層グラフ書換え言語の拡張

JSSST2024 2 日目 [4b-3-R]

2024/9/11

早稲田大学 基幹理工学研究科 情報理工・情報通信専攻

田久健人 上田和紀

背景 階層グラフ書換え系は有用なモデリング・計算体系である. しかしながら,論理体系との対応関係が自明ではない.

先行研究 階層グラフ書換え言語 LMNtal 上で,
MELL Proof Nets のカット除去規則のエンコードを行った [TU23].

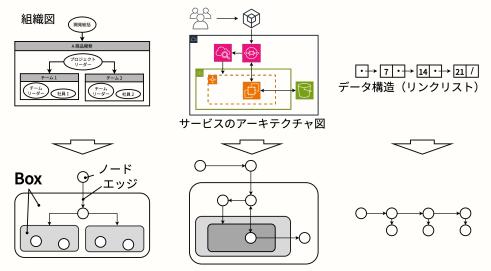
課題 既存のエンコードでは,Contraction, Weakening の操作を 直接的に表現できない.

貢献 これらに直接的に対応する操作を定義,実装した上で,

- これらの操作の有用性を示した。
- LMNtal の Proof Nets のワークベンチとしての有用性を示した.

背景:階層グラフ

接続関係,階層構造は普遍的.



階層グラフ(ノード + エッジ + Box) でこれらを表現できる.

背景:階層グラフ書換え系の例

階層グラフ書き換え系:

階層グラフの書換えにより計算・モデリングを行う体系.

- CHAM (Chemical Abstract Machine) [BB92]
- BRS (Bigraphical Reactive System) [Mil01]
- Hierarchical Graph Transformation [DHP02]
- LMNtal (elemental と発音) [Ued09]
- Attributed Hierarchical Port Graph [EFP18]

これらは主にモデリング言語として提案されている.

多くのものは処理系,ツールの実装もされている.

背景:階層グラフ書換え系と論理体系

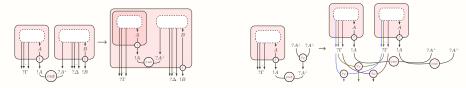
位置付けの明瞭化のため,他体系との対応関係の明示が重要.

特に,論理体系との対応があるとより嬉しい.

● 例: Curry-Howard 同型

Multiplicative Exponential Linear Logic (MELL) [Gir87]:

- Exponential を持つ体系の Proof Nets は、Promotion Box [Gir87] と呼ばれる Box 構造を持つ
- MELL Proof Nets のカット除去規則は,階層グラフの書換えを行う



→ MELL Proof Nets とそのカット除去は、
階層グラフ書換え系と何らかの対応関係が考えられる?

背景:MELL の定義,性質

定義. MELL の論理式

MELL の論理式は以下のように定義される.

古典論理の含意 \rightarrow は線形含意 \neg により以下のように埋め込まれる.

$$A \to B \mapsto !A \multimap B$$

背景:MELL の推論規則 (one-sided)

A, B: formula, Γ, Δ : lists of formulae

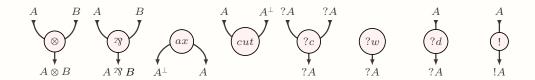
カット除去定理が成り立つ [Gir87].

背景:MELL と Proof Nets

MELL のシークエントに対応するグラフ構造を定義する.

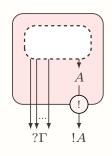
- 1. 証明構造と呼ばれるグラフ構造を導入する
- **2.** 証明構造の中で MELL シークエントと対応の取れるものを **Proof Nets** と呼ぶ
 - 整合性条件 ([DR89] 等) を満たすものとして定義される

背景:証明構造 ① セル・ワイヤー



- 有向非巡回多重グラフ
- セル (ノード) は MELL の推論規則でラベル付けされる
- ワイヤー (エッジ) は MELL 論理式でラベル付けされる
- セル⊗, ③ のみ入力が順序づけられる(cut と ?c は入力に区別がない)

背景:証明構造 ② Promotion Box



$$\frac{\vdash ?\Gamma, A}{\vdash ?\Gamma, !A}!$$

- !-規則に対応する
- 点線内には任意の証明構造が入る
- 必ず互いに分離しているか入れ子になる必要がある
- 内部を変換から保護し、簡約を順序づける

背景:証明構造,Proof Nets

定義. MELL の証明構造

MELL の証明構造は,

セル,ワイヤーと Promotion Box からなる有向非巡回多重グラフである.

定義. MELL Proof Nets

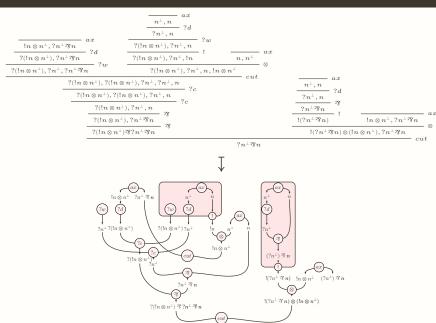
MELL Proof Nets は,

MELL の証明構造のうち,整合性条件 [DR89] を満たすものである.

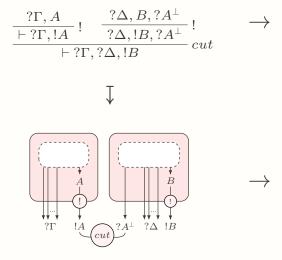
(詳細は省略,本文に記載.)

Proof Nets は,対応する MELL シークエントがある.

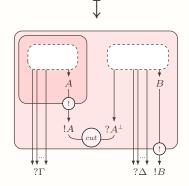
背景:MELL Proof Nets の例



カット除去規則の例 ① box-nested



 $\frac{\frac{?\Gamma,A}{\vdash ?\Gamma,!A}! \quad ?\Delta,B,?A^{\perp}}{\frac{\vdash ?\Gamma,?\Delta,B}{\vdash ?\Gamma,?\Delta,!B}!} cut$



Box の移動をしている.

カット除去規則の例② box-weakening

$$\frac{?\Gamma, A}{\vdash ?\Gamma, !A} ! \frac{\Delta}{\Delta, ?A^{\perp}} ?w \longrightarrow \frac{\Delta}{\vdash ?\Gamma, \Delta} ?w$$

$$\downarrow \qquad \qquad \downarrow \qquad \qquad \downarrow$$

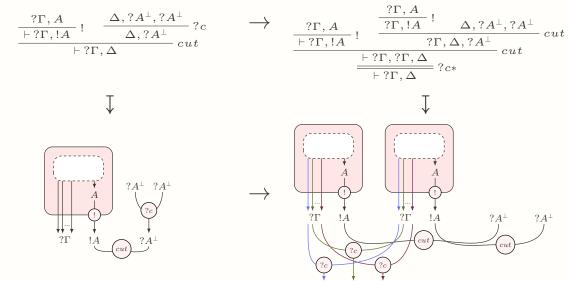
$$\downarrow \qquad \qquad \downarrow \qquad \qquad \downarrow$$

$$\uparrow \qquad \qquad \downarrow \qquad \qquad \downarrow$$

$$?\Gamma \qquad !A \qquad ?A^{\perp}$$

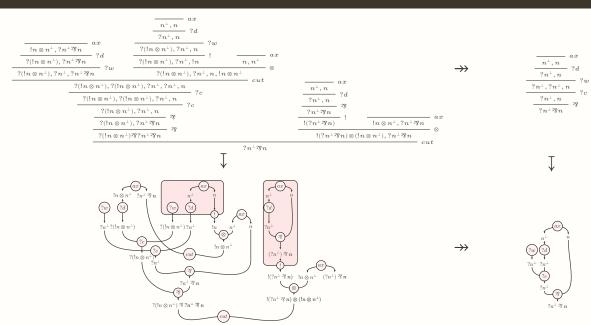
Box の削除をしている.

カット除去規則の例 ③ box-contraction



Box の複製をしている.

背景:カット除去の適用例



背景:カット除去に関する諸性質

定理. カット除去定理 [Gir87]

MELL Proof Nets は任意のカットを除去できる.

定理. 安定性 [Gir87]

任意の MELL Proof Net は,カット除去後も MELL Proof Net である.

| 定理. 合流性 [Gir87; PF10]

MELL Proof Nets のカット除去は合流性を持つ.

定理. 強正規化性 [Gir87; PF10]

MELL Proof Nets のカット除去は強正規化性を持つ.

背景:Proof Nets と階層グラフ書換え系

Proof Nets から出発した (階層) グラフ書換え系の例:

- Interaction Nets [Laf89]
- Interaction Nets with Boxes [AFM11]
- Hypernet [Mur20]
- ✓ 主に関数型言語の計算モデルとして有用
- ▲ 表現可能なグラフ構造が限定されていて, モデリング言語としては十分とは言えない

背景:階層グラフ書換え言語 LMNtal

本研究では、モデリング目的で設計された階層グラフ書換え 系から出発し、論理体系との対応を考察する.

今回は,**階層グラフ書換え言語 LMNtal** を採用する.

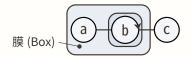
- ✓ 構造的操作的意味論 (SOS) を持つ
 - グラフ変換は,Double Pushout (圏論) による意味論が主流
- ✔ 様々な他体系との対応が調べられている
 - 並行計算モデルやラムダ計算等
- ✓ オープンソースの処理系 [石川 +08] がある
 - https://github.com/lmntal,メンテナンスが続いている
- ✓ 処理系がモデル検査器機能を提供している [GHU11]

背景:LMNtal グラフ

The syntax of LMNtal

```
プロセス
  P := 0
                               (アトム)
      p(X_1,\ldots,X_m)
                                 (分子)
       P, P
       \{P\}
                                   (膜)
```

a(X,X), a(Y,Z), a(Y,Z).



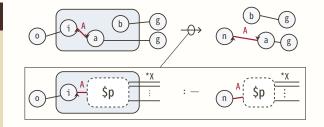
 $\{a(X), \{b(Y,X)\}\}, c(Y).$

- アトム (小文字), リンク (大文字)
- 無向多重ポートグラフ [PMD12]
- 矢印は引数順序に対応する
- リンク名は α 変換可能 (重要でない)

背景:ルール,プロセス文脈,リンク束

The syntax of LMNtal

```
プロセス
  P := 0
       [RuleName @@] T :- T
                             (ルール)
プロセステンプレート
  T := 0
      p(X_1,\ldots,X_m)
                             (アトム)
                               (分子)
       T,T
       \{T\}
                                 (膜)
       [RuleName @@] T :- T
                             (ルール)
     | p[X_1, ..., X_m | A] (プロセス文脈)
剰余引数
  A := []
                            (リンク束)
      *X
```



```
o(B),{i(A,B),a(A,G1),b(G2)},g(G1),g(G2). //init
o(B),{i(A,B),$p[A|*X]} :- n(A),$p[A|*X]. //rule
```

- **自由リンク**:片側が接続先未定のリンク
- \$p : ワイルドカード
- *X : 不特定多数本の自由リンクの列

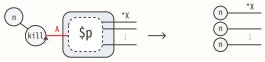
ルールの適用は SOS[Ued09] に従う.

背景:nlmem ライブラリ

ライブラリ nlmem (non-linear membrain) [乾 +08]:

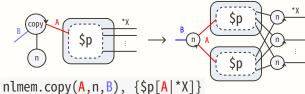
不特定多数の自由リンクを持つ 膜の消去,複製を安全に行う

膜の消去 nlmem.kill:



nlmem.kill(A,n), {p[A|*X]}

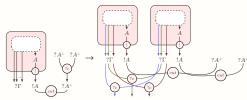
膜の複製 nlmem.copy:



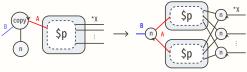
※ ルール前後の自由リンクの本数が等しい = ポインタ安全

課題:box-contraction のエンコード

エンコード [TU23] において,Contraction に関して,



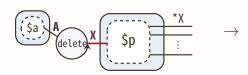
nlmem.copy を用いたが,



- ▼ アトム以外の構造を不特定多数個生成できない
- 🗙 cut セル接続部分が直接的でない
- → 直接的に記述することはできなかった

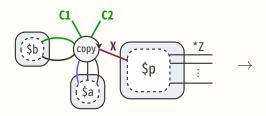
提案する拡張:mell ライブラリ

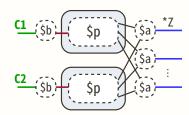
膜の消去 mell.delete:



(\$a) *X (\$a) (\$a) (\$a)

膜の複製 mell.copy:





※ 詳しい仕様は本発表では省略

mell ライブラリの実装

mell.delete, mell.copy を実装した.

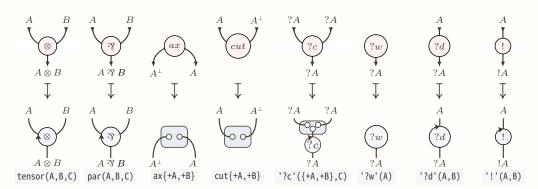
- LMNtal 処理系上のライブラリとして実装
- feature/mell ブランチで公開: https://github.com/lmntal/slim/tree/feature/mell
- 本ブランチをビルドで使用可能
- ※ 以降の例題は全て処理系上で動作確認済み

MELL Proof Nets のエンコード

MELL Proof Nets を拡張 LMNtal でエンコードする.

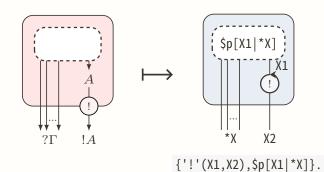
- 1. 証明構造の構成要素のエンコード
- 2. カット除去規則のエンコード
- 3. 実行例:単純型付きラムダ計算の eta 簡約の状態空間描画
- 4. エンコードの正しさに関する議論
- 5. 応用例:ルールの追加,検証

エンコード 1:セル・ワイヤー



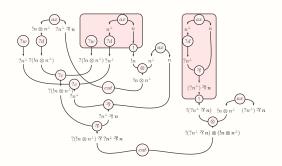
- ⊗, ♡ の入力の順序づけは、アトムで表現
- ullet ax,cut は入力に順序がないので,膜で表現
- ullet ?c は,入出力の区別はアトム,順序のない入力は膜
- ※ 論理式を表す自由リンクは、アトム formula を繋げる

エンコード 1: Promotion Box



- Box の外枠は膜で表す.
- ?Гは,リンク束 *X で表す.
- 空白部分は,プロセス文脈 \$p[X1|*X] で表す.

エンコード 1:例



```
ax{+A1,+A2},'?d'(A1,A3),'?w'(A4).
{ax{+B1,+B2},'?d'(B1,B3),'?w'(B4),'!'(B2,B5)}.
'?c'({+A3,+B4},C1).'?c'({+A4,+B3},C2).tensor(B5,T1,D2),ax{+T1,+T2}.
cut{+A2,+D2}.par(C2,T2,P1).par(C1,P1,F).
cut{+F,+D4}.
{ax{+E1,+E2},'?d'(E1,E3),par(E3,E2,E4),'!'(E4,E5).}.
tensor(E5,T3,D4),ax{+T3,+T4}.formula(T4).
```

エンコード 2:カット除去規則

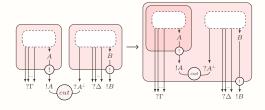
愚直にルールとして落とし込む.

実装:

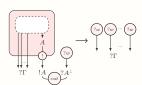
https://github.com/kyawaway/MELL-Nets-in-LMNtal/tree/mell-module

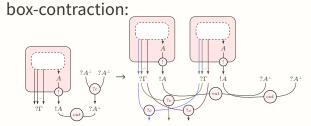
(補足) カット除去規則の例

box-nested:

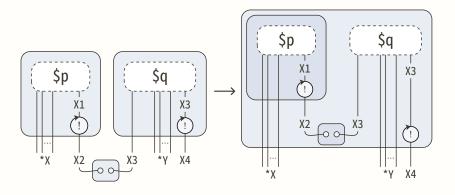


box-weakening:



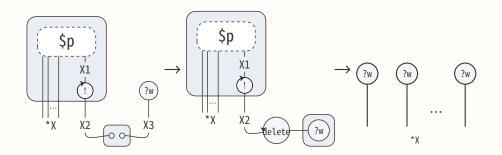


エンコード 2:box-nested



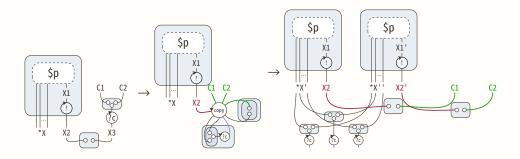
```
box_nested@@
{'!'(X1,X2),$p[X1|*X]},{$q[X3|*Y]},cut{+X2,+X3}
:- {{'!'(X1,X2),$p[X1|*X]},$q[X3|*Y],cut{+X2,+X3}}.
```

エンコード 2: box-weakening



```
box_weakening@@
{'!'(X1,X2),$p[X1|*X]},cut{+X2,+X3},'?w'(X3)
:- mell.delete(X,A),{$p[X|*X]},{'?w'(A)}.
```

エンコード 2:box-contraction



nlmem による box-?c の記述 (再掲)

旧バージョン (nlmem.copy を使用):

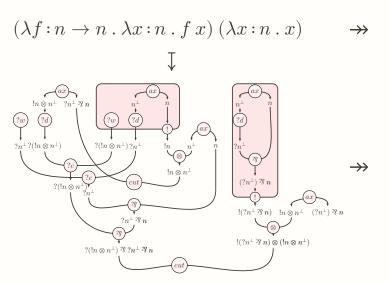
```
box_contraction_step1@@
{'!'(X1,X2),$p[X1|*X]},cut{+X2,+X3},'?c'({+C1,+C2},X3)
    :- nlmem.copy(X2,'?c_sub',C),{'!'(X1,X2),$p[X1|*X]},cut_sub(C,C1,C2).

box_contraction_step2@@
'?c_sub'(A,B,C) :- '?c'({+A,+B},C).

box_contraction_step3@@
'?c'({+X21,+X22},XC),cut_sub(XC,C1,C2) :- cut{+X21,+C1},cut{+X22,+C2}.
```

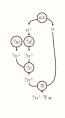
✓ 3ステップに分けていたが、1ステップで記述できた

実行例:単純型付きラムダ計算



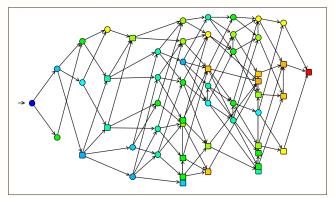
この書換えの状態空間を出力する.

 $(\lambda x : n \cdot x)$ \downarrow



実行例:実行結果

状態空間 (StateViewer [綾野 +10] により出力):



任意の状態から有限ステップで唯一の終了状態(赤)に到達.

→ 合流性,強正規性が現れている

エンコードの正しさに関する議論

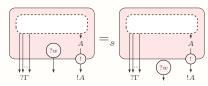
- 一般的には,,,
 - 1. 仕様が与えられ,
 - 2. それを満たすアルゴリズムを記述し、
- 3. アルゴリズムの健全性,完全性,決定性などを証明する
- 今回の場合は,**アルゴリズムが限りなく仕様に近い**.
- → どちらも図表現があり、非形式的には図より明らか
- ※ 形式的には,それぞれの数学的定義間の対応を取る

応用例:ルールの追加

以下の同値関係 $=_s$ [Dan90; DG99] の導入を考える.

(a) contraction-pull-equivalence

(b) weakening-pull-equivalence



• 代入表現に関する細かい区別において必要となる

これらを追加した時のカット除去の性質はどうなるか?

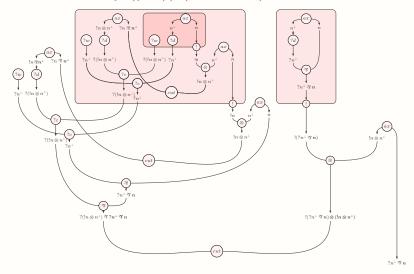
応用例: $=_s$ ルールの記述

```
box_contraction_pull@@
{'!'(X1,X2),'?c'({+X3,+X4},X5),$p[X1,X3,X4|*X]}
  := \{'!'(X1,X2), p[X1,X3,X4|*X]\}, '?c'(\{+X3,+X4\},X5).
box_contraction_push@@
{'!'(X1,X2),$p[X1,X3,X4|*X]},'?c'({+X3,+X4},X5)
  :- { '!'(X1,X2),$p[X1,X3,X4|*X],'?c'({+X3,+X4},X5)}.
box_weakening_pull@@
\{'!!'(X1,X2),'?w'(X3),\$p[X1|*X]\}:-\{'!!'(X1,X2),\$p[X1|*X]\},'?w'(X3).
box_weakening_push@@
\{'!'(X1,X2), p[X1|*X]\}, '?w'(X3) :- \{'!'(X1,X2), '?w'(X3), p[X1|*X]\}.
```

 \rightarrow_s :pull(Box から取り出す), \leftarrow_s :push(Box に入れる)

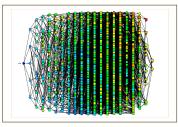
応用例:適用対象の Proof Nets

 $(\lambda f: n \to n . \lambda x: n . f(fx))(\lambda x: n . x)$ に対応する:

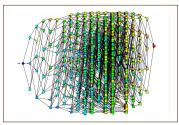


応用例:Contraction の = 。

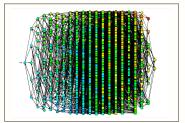




push:



equivalence:



状態数:1808

終了状態数:1

(CR, SN)

状態数:476

終了状態数:1

(CR, SN)

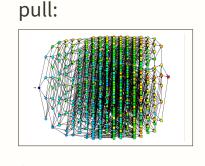
状熊数:1808

終了状態数:1

(CR)

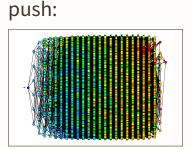
equivalence $(=_s)$ = pull (\to_s) + push (\leftarrow_s)

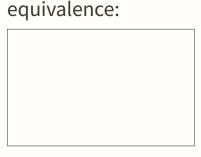
応用例:Weakening の $=_s$



状態数:756

(CR, SN)





状態数:?(爆発)

終了状態数:1 終了状態数:16

(SN)

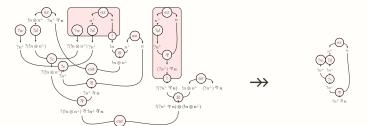
✓ Promotion Box の書換え規則を容易に追加できた✓ 状態空間描画機能を用いて、性質の変化を視覚化できた

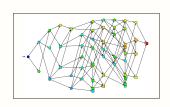
状態数:41216

エンコード:まとめ

拡張 LMNtal 上で MELL のカット除去をエンコードした.

- **自然に**エンコードできた
- 適用パターンの状態空間が構築できた
- ルールの追加が容易に行えた
- → Proof Nets のワークベンチとして有用である





その他の使用例

mell ライブラリの階層グラフ書換えにおける有用性を、 例題の記述によって検討する.

- **?** Promotion Box は,階層グラフ書換えによる 計算やモデリングにおいて有用か?
- ① π 計算や ② Ambient 計算等,プロセス計算のエンコードにおいて使用可能(Ambient の表現や, プロセスの複製,強制終了等)

使用例:プロセス計算 ① 同期 π 計算

プロセスの複製、強制終了のエンコードで使用可能:

1. 同期 π 計算:プロセスの強制終了

$$(x(y).P + M \mid \bar{x}\langle z \rangle.Q + N) \rightarrow P[z/y] \mid Q$$

nlmem.kill[Ued09]:

```
 \label{eq:commee} $$ \operatornamewithlimits{commee} $$ \{x,+C1,+C2\}, \{ get(C1,Y, \{ p[Y|*V1] \}), \mbox{$\mathfrak{m}$}, \{ snd(C2,Z, \{ q \}), \mbox{$\mathfrak{n}$} \} : - \{ x\}, \mbox{$\mathfrak{p}[Z|*V1]}, \mbox{$\mathfrak{q}$}, \mbox{$\mathfrak{m}$}. $$ $$ \mbox{$\mathfrak{m}$}. $$ $$ \mbox{$\mathfrak{m}$}. $$
```

mell.delete:

使用例:プロセス計算 ② ambient 計算

2. Ambient 計算:プロセスの複製

```
!(\text{open } m.P) \mid m[Q] \rightarrow P \mid Q \mid !(\text{open } m.P)
```

nlmem.copy [Ued08] :

mell.copy:

```
open_repl@@ open_repl(M,{$p}),{amb(M1),{id,+M1,-M2,$mm},$q,@q},{id,+M,+M2,$m}
    :- mell.copy({$p},A1,A2,A3,B1,B2,remove,P),{cp(A1,A2,A3)},{B1=B2},
        $q,{id,+M3,$m,$mm},open_repl(M3,P).
open_repl_aux@@ remove({$p}) :- $p.
```

使用例:まとめ

LMNtal 上で,MELL の Promotion Box の動作に基づく 操作を定義し,処理系に実装した.

● 膜の copy,delete 操作を定義した

プロセス計算におけるプロセスの削除,複製が表現できた.

- Promotion Box は排除されることが多い
 - Optimal Reduction 等,局所的書換えに基づく書換え系
- ✓ 一方で,並行性が求められる動作の記述においては有用

LMNtal 上で,MELL Proof Nets の Promotion Box の動作に 基づく操作 mell を実装したことで,

- ✓ 有用な Proof Nets のワークベンチが提供できた
- ✓ Promotion Box を,階層グラフ書換えにおいて 並行性のある動作の記述に応用できた
- → 階層グラフ書換え側,Proof Nets 側の双方に利点あり

Reference I

- [TU23] Kento Takyu and Kazunori Ueda. "Encoding MELL Cut Elimination into a Hierarchical Graph Rewriting Language". In: *The 21st Asian Symposium on Programming Languages and Systems SRC&Posters*. 2023.
- [BB92] Gérard Berry and Gérard Boudol. "The chemical abstract machine". In: *Theoretical Computer Science* 96.1 (1992), pp. 217–248. ISSN: 0304-3975. DOI: https://doi.org/10.1016/0304-3975(92)90185-I.
- [Mil01] Robin Milner. "Bigraphical Reactive Systems". In: Proceedings of the 12th International Conference on Concurrency Theory. CONCUR '01. Berlin, Heidelberg: Springer-Verlag, 2001, pp. 16–35. ISBN: 3-540-42497-0.
- [DHP02] Frank Drewes, Berthold Hoffmann, and Detlef Plump. "Hierarchical Graph Transformation".
 In: Journal of Computer and System Sciences 64.2 (2002), pp. 249–283. ISSN: 0022-0000. DOI: https://doi.org/10.1006/jcss.2001.1790.

Reference II

[DR89]

[Ued09] Kazunori Ueda. "LMNtal as a hierarchical logic programming language". In: *Theoretical Computer Science* 410.46 (2009), pp. 4784–4800. ISSN: 0304-3975. DOI: https://doi.org/10.1016/j.tcs.2009.07.043.
 [EFP18] Nneka Chinelo Ene, Maribel Fernández, and Bruno Pinaud. "Attributed hierarchical port graphs and applications". English. In: *Electronic Proceedings in Theoretical Computer Science, EPTCS* 265 (Feb. 2018). Publisher: Open Publishing Association, pp. 2–19. ISSN: 2075-2180.
 [Gir87] Jean-Yves Girard. "Linear logic". In: *Theoretical Computer Science* 50.1 (1987), pp. 1–101. ISSN: 0304-3975. DOI: https://doi.org/10.1016/0304-3975(87)90045-4.

Mathematical Logic 28.3 (1989), pp. 181–203. DOI: 10.1007/bf01622878.

Vincent Danos and Laurent Regnier. "The Structure of Multiplicatives". In: Archive for

Reference III

- [PF10] Michele Pagani and Lorenzo Tortora de Falco. "Strong normalization property for second order linear logic". In: *Theoretical Computer Science* 411.2 (2010), pp. 410–444. ISSN: 0304-3975. DOI: https://doi.org/10.1016/j.tcs.2009.07.053.
- [Laf89] Yves Lafont. "Interaction Nets". In: Proceedings of the 17th ACM SIGPLAN-SIGACT Symposium on Principles of Programming Languages. POPL '90. New York, NY, USA: Association for Computing Machinery, 1989, pp. 95–108. ISBN: 0-89791-343-4. DOI: 10.1145/96709.96718.
- [AFM11] Sandra Alves, Maribel Fernández, and Ian Mackie. "A new graphical calculus of proofs". In: Electronic Proceedings in Theoretical Computer Science 48 (Feb. 2011). DOI: 10.4204/EPTCS.48.8.
- [Mur20] Koko Muroya. "Hypernet semantics of programming languages". Ph.D. thesis. University of Birmingham, 2020.

Reference IV

- [石川 +08] 石川 力 et al. "軽量な LMNtal 実行時処理系 SLIM の設計と実装". In: 全国大会講演論文集. Vol. 第 70 回. Mar. 2008, pp. 153–154.
- [GHU11] Masato Gocho, Taisuke Hori, and Kazunori Ueda. "Evolution of the LMNtal runtime to a parallel model checker". English. In: *Computer Software* 28.4 (2011), pp. 137–157. ISSN: 0289-6540.
- [PMD12] Bruno Pinaud, Guy Melançon, and Jonathan Dubois. "PORGY: A Visual Graph Rewriting Environment for Complex Systems". In: *Computer Graphics Forum*. Eurographics Conference on Visualization (EuroVis 2012) 31.3 (2012). Publisher: Wiley, pp. 1265–1274. DOI: 10.1111/j.1467-8659.2012.03119.x.
- [乾 +08] 乾 敦行 et al. "階層グラフ書換えモデルに基づく統合プログラミング言語 LMNtal". In: コンピュータソフトウェア 25.1 (2008), 1_124-1_150. DOI: 10.11309/jssst.25.1_124.

Reference V

- [綾野 +10] 綾野 貴之 et al. "統合開発環境による LMNtal モデル検査". In: コンピュータソフトウェア 27.4 (2010), 4_197-4_214. DOI: 10.11309/jssst.27.4_197.
- [Dan90] Vincent Danos. "La Logique Linéaire appliquée à l'étude de divers processus de normalisation (principalement du Lambda-calcul)". Ph.D. thesis. University of Paris VII, 1990.
- [DG99] Roberto Di Cosmo and Stefano Guerrini. "Strong Normalization of Proof Nets Modulo Structural Congruences". In: Rewriting Techniques and Applications. Ed. by Paliath Narendran and Michael Rusinowitch. Berlin, Heidelberg: Springer Berlin Heidelberg, 1999, pp. 75–89. ISBN: 978-3-540-48685-5.
- [Ued08] Kazunori Ueda. "Encoding Distributed Process Calculi into LMNtal". In: Electronic Notes in Theoretical Computer Science 209 (2008), pp. 187–200. ISSN: 1571-0661. DOI: https://doi.org/10.1016/j.entcs.2008.04.012.